

株式会社 テーオー小笠原 様

個別構築されていたネットワークを「SmartVPN」に統合し運用ポリシーを一元管理。クラウドを活用したシステム整備が可能に



北海道 函館を中心にデパート・ホームセンター・スーパーマーケットといった小売事業や住宅事業、全国主要都市などへの木材事業など複合的な事業を展開する株式会社テーオー小笠原（以下、テーオー小笠原）は、事業部ごとに独立採算制を採用しているためネットワークも事業部単位で構築していましたが、情報システムの運用ポリシーを全社で統一しクラウド化に向けシステムインフラを強化することになり、既存のネットワークを「SmartVPN」に統合しました。その後、シングルサインオンや DNS といった基盤システムを「VMware vCloud® Datacenter Service（以下、vCloud® Datacenter）」に構築。取引企業とのファイル送受信に「PrimeDrive」（オンラインストレージ）を利用するなど、クラウドサービスを活用したシステムの最適化を進めています。

課題と導入の効果

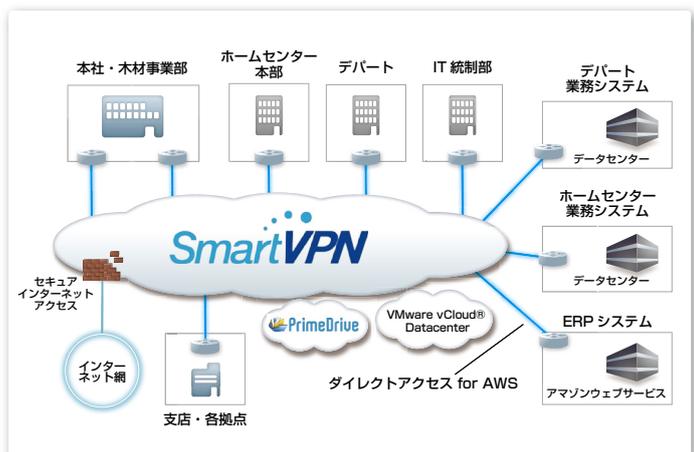
課題 複数の個別構築ネットワークを運用していたため、情報システムの運用ルールが統一されていませんでした。

効果 「SmartVPN」の導入によりネットワークが統合され、セキュリティやシステムの運用ルールを本部で一元管理できました。

課題 システムのクラウド化を促進できるネットワーク基盤を求めていました。

効果 クラウドと親和性の高い「SmartVPN」導入により、クラウドサービスの活用を推進できました。

多量の事業を運営するテーオー小笠原は、事業部ごとに情報システムの最適化を実施してきた経緯が



あり、ネットワークについても部分最適化された回線を複数ベンダと契約していましたが、しかし各事業部で情報システム業務を本務としている担当者は少なく、別業務と兼務でシステムを保守管理することも少なくありません。その結果、システムの運用ルールやセキュリティポリシーは事業部ごとに異なっていました。

こうした状況を改善するために、総合的なシステム基盤を見直す取り組みが2015年1月より始まり、最初に着手したのは事業部ごとに構築されていたネットワークを統合し、全社で統一したドメインのメールシステムを構築することでした。統合ネットワークの要件は閉域網とし、本社やデパート、ホームセンター、データセンターなどの主要5拠点を高品質のアクセス回線で冗長化、それ以外の

拠点はコスト重視のアクセス回線とすることでした。ソフトバンクが提供する「SmartVPN」を選択したことでランニングコストを約30%低減、およそ1年をかけ全国57拠点のネットワーク改修を完了し、メールシステムを含めた全社共通のグループウェアが稼働しています。

これによりシステムの運用ポリシーを全社で一元管理できるようになったほか、システム関連の問い合わせには本部の情報システム担当者が即応できる体制が実現されたことでトラブル対応も迅速化。統一ネットワーク構築にあわせて、シングルサインオン、認証、ファイルサーバ、DNSサーバといった基盤システムも新設しました。これらは

クラウド環境に作ることが前提となっていたため、「SmartVPN」との接続性がよいクラウドサービス「vCloud® Datacenter」を選択しました。また、アマゾン ウェブ サービス (AWS) 上に構築したERPシステムへは「ダイレクトアクセス for AWS」を使って「SmartVPN」からダイレクトに接続しています。このように他社のクラウドサービスとの親和性が高いことも「SmartVPN」を選択した理由の一つでした。

各事業部の既存業務システムが稼働するデータセンターへも「SmartVPN」からダイレクトにアクセスしてインターネットを介さないセキュアなネットワークを実現しています。

お客様の声



株式会社テーオー小笠原
統括管理本部 部長
田澤 義直 氏

基盤システムのクラウド化では、筐体を分けた二重構成を要件として各社のクラウドサービスを比較したところ、最もコストパフォーマンスがよかった「vCloud® Datacenter」を選択しました。大容量のデータを送受信するサービスとして「PrimeDrive」を選択したのは、社外の取引先にユーザ登録してもらわなくとも、指定のURLを送るだけで取引先からもファイルがアップロードできる仕組みを持っていたからです。セキュリティに関してはウイルス対策だけでなく、ファイルの読み書きを制御したり、USBデバイスの接続をロックしたり、インターネット接続を制限するなど、多様な運用管理が可能になりました。



株式会社テーオー小笠原
統括管理本部 係長
伊藤 裕哉 氏

個別構築のネットワークを運用していた時はシステムやネットワークの状況を総括的に把握している部署がなかったため、トラブルが生じても事業部ないし各拠点で事情に詳しい人が個別に対応するしかなく、復旧までに時間がかかっていました。現在はネットワークの改修にともないIT統制部という専門部署を設け、業務システムやネットワークといったインフラ系のトラブル対応から、PCの不具合では本部からリモートアクセスして対処するなど、専門の担当が一元的に対応できるようになり、復旧までの時間を大幅に短縮できました。こうした管理体制を今後は子会社まで拡大していく予定です。

導入企業情報



会社名：株式会社テーオー小笠原

本社：北海道函館市港町3丁目18-15

設立：1955年1月10日

URL：http://to-ogasawara.co.jp

従業員数：1,372名(パート含む) ※2015年5月期

※パンフレット記載内容は、2016年8月現在のものです。